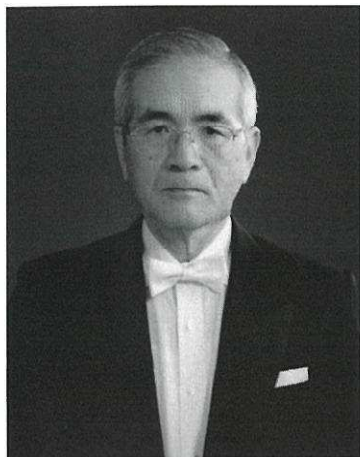


Profile



◆指揮&コンサートマスター

小山 洋治 *Yoji Koyama*

岡山大学法文学部法学科卒業後、岡山大学教育学部学士課程卒業。

在学中、岡山大学教育学部音楽教室定期演奏会で、菱川欣三郎氏指揮同管弦楽団でベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲を独奏した。

2005年6月、保科洋氏の指揮で一夜にベートーヴェンとメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲を独奏する等、多くの協奏曲を独奏した。

リサイタルは、1978年以来8回岡山で行う。この間、東京、横浜、岡山、福山、九州一円におけるソナーレ弦楽四重奏団、ガボア弦楽四重奏団ヴァイオリニスト、ゼフィール合奏団指揮・コンサートマスターとして出演。

岡山大学教育学部非常勤講師（ヴァイオリン、ヴィオラ）を務めた。岡山県立岡山芳泉高等学校教諭を最後に定年退職。ヴァイオリンを故 木村善之、故 竹本洋、市原利彦、浦川宜也、指揮を早川正昭の各氏に師事。



◆フルート

柴田 真梨子 *Mariko Shibata*

岡山県出身。岡山県立総社高等学校を経て、東京芸術大学音楽学部卒業、同大学大学院音楽研究科フルート専攻修了。

ドイツのコレギウム・ムジクム国際音楽セミナー「オーケストラ・室内楽コース」修了。第9回レ・スプレンドル音楽コンクール管楽器部門第3位入賞（フルート最高位）。第25回東京国際芸術協会新人演奏会オーディション合格。第13回日本フルートコンベンションコンクール・ピッコロ部門第2位入賞。2015年、（株）フォンテックよりCD「トリオソナタ」をリリース。2018年度、宇都宮大学非常勤講師。長崎県、秋田県など全日本吹奏楽コンクールの審査員多数。岡山フィルハーモニック管弦楽団、NHK交響楽団、東京都交響楽団等全国のオーケストラに客演する他、室内楽やフルートアンサンブル、ソロなどの演奏活動を行っている。また指導にも力を入れており、個人レッスンははじめ、吹奏楽部のパート指導やセミナー等でも講師を勤めている。

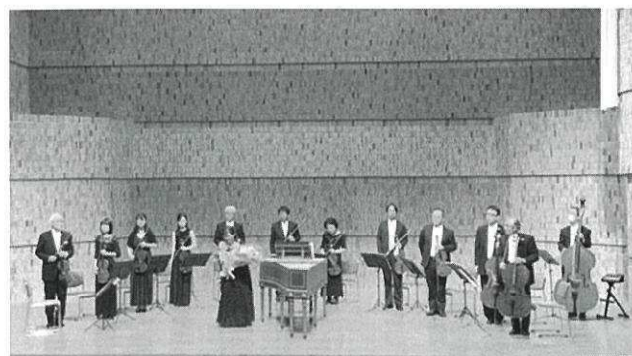
現在、くらしき作陽大学非常勤講師。作陽高校ミュージックコース非常勤講師。岡山市ジュニアオーケストラ指導員。フルート専門店「テオバルト」講師。岡山フルートの会特別会員。フルート・ソロイストOKAYAMAメンバー。東京吹奏楽団フルート奏者。



◆チェンバロ

本名 洋子 *Yoko Hommyo*

東京芸術大学音楽学部楽理科卒業、同大学院音楽研究科修士課程音楽学専攻修了。学部在学時に安宅賞受賞。チェンバロ、通奏低音を岩淵恵美子、大塚直哉、三和睦子の各氏に師事。姫路パルナソスホールチェンバロ講座上級コース修了。岡山県立岡山城東高等学校、くらしき作陽大学、作陽短期大学、ノートルダム清心女子大学非常勤講師。日本音楽学会、日本チェンバロ協会会員。



ゼフィール合奏団

1971年夏、精緻なアンサンブルをめざして岡山大学交響楽団OBが中心となり「ゼフィール室内合奏団」の名称で創立されました。木管五重奏と弦楽合奏のジョイント方式で「いつかベートーヴェンの交響曲を」との夢の目標を掲げて定期演奏会を始めました。

コレリ、ヴィヴァルディ、バッハ、ヘンデル、モーツァルトを柱に弦楽合奏の神髄を求めて研鑽し、1986年に名称を「ゼフィール合奏団」に変更しました。

2010年からベートーヴェン交響曲全曲演奏会を始め、2021年（創立50周年）に第9番「合唱付き」を演奏して夢の目標を実現しました。

新たな目標を「名曲名演奏」として、年に一回の演奏会を行っています。これまで、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスター、ライナー・ホーネック氏をはじめ、国内外、県内の演奏家をお迎えして協奏曲も意欲的に取り組んできました。常任指揮者は創立以来小山洋治。